

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	パソコン入力は見ずらく、入力にもかなりの時間がかかっている。また、1日の過ごし方を入力できずにそのままになっていることもある。入力時は事務所の中にももることになるので、入居者の方と関わる時間が減る原因の1つとなっている。時には入力内容が細かく過ぎ、職員は把握できずに過ごしている時もある。	記録の意識を高め、的確な記録ができるようにする。	一人ひとりの1日の過ごし方、心身状態等、1日のパソコン入力記録の仕方を見直すと同時に、パソコン入力以外でよい方法があれば検討していく。	12ヶ月
2	48	時間に追われて職員主体になってしまっている日もある。楽しみごとを持ってずに退屈にさせてしまっている日もある。	グループホームの原点の回帰	目的を持ち支援にあたり、1日が職員都合の作業化にならないように職員間で日々、声を掛け合う。また、ミーティング・カンファレスを定期的に行い、意識を高めていく。	12ヶ月
3					
4					